

白布城だより 2023・夏

栃木県立真岡高等学校定時制課程

〒321-4331 栃木県真岡市白布ヶ丘24番地1

☎0285-82-3413 ■FAX0285-82-2913

●巻頭言●

ごあいさつ

教頭 佐藤 成之



保護者等の皆様、並びに定時制後援会、地域の皆様には、日頃から本校の教育活動に多大なるご協力とご支援をいただき、心より感謝申し上げます。

本校定時制は今年度、1年次生に19名の新入生、3年次生に1名の転入学生を迎え、全学年51名の生徒でスタートしました。新型コロナウイルス感染症も法律上の位置付けが変わり、本校においても、少しずつコロナ禍以前の日常に戻りつつあります。4月14日(金)に行われた情報モラル教育では、「LINEみらい財団」に「災害時を想定した情報収集」についての講義を、オンラインでいただきました。一人一台のスマートフォンを持つことが当たり前になりつつある現在、情報リテラシーは必要不可欠となっております。今回の講義をとおして、自分の身を自

分で守るために必要なスキルを学ぶことができました。6月9日(金)には、進路ガイダンスが行われました。「県立産業技術専門学校」「TBC学院」から総勢25名の講師の先生にご来校いただき、20分野の職業別体験型ガイダンスを受講しました。本校の学校運営目標である、「生徒の意識を広く実社会に向けさせ、将来を見据えて学習に取り組む」を具現化するような行事でした。また、保護者対象に見学会と併せて給食試食会が行われました。本校自慢の給食を食べていただくことにより、本校への理解がさらに深まったと考えております。

6月17日(土)に定時制通信制総合体育大会が実施され、陸上競技部、柔道部の合計4名が参加しました。陸上競技では、男子砲丸投げに出場した4年次生2名が、第1位と第2位という成績を残しました。この結果により、4月に先行して行われた男子円盤投げ(第2位と第1位)とともに8月に開催される全国大会への出場を決めました。さらに、男子走り幅跳びに出場した1年次生も第2位という成績を収め、こちらも全国大会への出場を決めました。柔道部では、昨年度も全国大会に出場し、全国ベスト16に入った2年次生が、男子75キロ以下級と男子無差別級に出場しました。ほかに出場者がおらず、試合は行っていませんが、今年度も全国大会に出場することになりました。4名とも、さらに練習に取り組み、全国大会では、実力を十分に発揮してもらえことを期待しております。

2学期には、10月21日(土)に教育会館において定通文化発表会が開催されます。4年ぶりに、県内の定通制の生徒が一堂に会して実施されます。また、10月25日(水)から27日(金)にかけて、北海道方面への修学旅行も実施の方向で動いております。今後も、教職員一丸となって、生徒一人ひとりの成長のために努めて参りますので、保護者等の皆様並びに定時制後援会、地域の皆様には、引き続き、本校の教育活動へのご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

■入学式

4月7日(木)、講堂で全定合同による入学式が挙行され、真岡高等学校の伝統を受け継いだ厳かな式典となりました。佐藤 務 同窓会長様、鈴木 定男 定時制後援会長様、大足 篤志 全日制PTA会長様、高橋 三高 定時PTA会長様のご臨席を賜りました。4年ぶりにマスクの着用が任意となり、国家・校歌を清聴するだけから堂々と歌えるようになりました。

荒井 博文 校長が、定時制19名の新入生を含む217名の新入生に対して、「みなさんが積み重ねてきた努力を讃えたい。呼名にこれから始まる高校生活への気持ちがこめられていた。今日のこの感動を今後に生かしてほしい。」と、夢と希望に満ちた高校生活を期待する旨の話をされました。また本校の校訓である『至誠』の基本精神にも触れ、「卒業生26,000人の人間形成の普遍的理念であり続け、本校で学んだことを社会で結実させ、多くの分野で優れた人材を輩出してきた。」特に定時制新入生に対し、「今年度は、夕夜間制移行5年目。昼間はアルバイトで社会とつながりながら、夜は授業に励んでいる。その努力が、高い就職率につながった。多忙な中だからこそ、仲間とのコミュニケーションやチームワークを図ってほしい。」と、温かいまなごしを向けられました。

その後、定時制課程の保護者と生徒は、記念館講堂に移動してオリエンテーションを行いました。期待と不安が入り混じった入学式での表情から一転、「仲間と共に歩んでいくんだ。」という、安堵と希望に満ちた表情に変わっていました。



■第1学期始業式



4月8日(木)、記念館講堂で第1学期始業式が行われました。荒井 校長は「高校に入ったら、ああするぞ、こうするぞと希望に満ちていることだろう。節目は変わるチャンスである。」
「鶏の雛がかえろうとする時、殻の中で突いたり鳴いたりするので、親鳥は外から啄(ついで)んで、雛が出てくるのを助ける。このように生徒と教師の関係でも、教えを施す絶妙なタイミングがある。生徒が自ら動き出すと、教師はそれに対して適切なアドバイスを送れる。何かをする時には自分から動いてみよう。この1年が充実した1年になることを期待している。」と、期待を込めたメッセージを送られました。

■離任式・新任式・生徒対面式

4月8日(木)、記念館講堂。この日は例年、慣れ親しんだ人との別れ、新しい人との出会いが交錯する日です。離任された保健体育科の片岡達哉先生は、真岡工業高等学校に赴任されます。片岡先生はお別れの挨拶の中で、「柔道でオリンピックに出場する夢をもち、辛い練習に取り組んできた。周りの高い壁に自信が揺らぎ、気持ちが入らなくなった時期があったのは一生の後悔だ。辛いときは他人に助けを求めてもいいから、自分を信じ続け、日々努力して行ってほしい。」と熱く語りかけました。

また、宇都宮高校通信制から九石恵司先生(保健体育科)をお迎えしました。体操競技が専門で、本校の卒業生です。「通信制と違い、生徒に毎日会えるのが楽しみです。」と話されました。3年次正担任と集会等の司会を担当されます。

生徒対面式で、生徒会長のビント・ジオ君(4年次)が在校生を代表して「日々努力することを忘れず、互いに頑張っていきましょう。」と、やさしく歓迎のことばを掛けると、新入生を代表して山口 翔君(写真中央)が「不安があるが、先輩方に教えてもらい頑張っていきたい。」と、堂々たる挨拶をしました。



■新入生歓迎会

4月11日(火)、記念館講堂で新入生歓迎会が開かれました。学校紹介で、クラス・部活動・学校行事等が映像で紹介されると、生徒たちは期待に満ちたまなごしで映像を楽しんでいました。新入生代表挨拶では、田迎 菜摘さんが「一日も早く学校に慣れ、この伝統ある真岡高校の一員として胸を張れるように努力していきたい。」と、明るく爽やかに挨拶しました。

■本校創立記念日

4月20日(木)は、真岡高等学校の創立記念日、明治33年に開校した本校は、120有余年の歴史を誇ります。その当時は、真岡町民(現真岡市民)の熱意ある嘆願によって栃木県が動き、資金の半分を町民の私財寄付によって本県3番目の旧制中学校(栃木県第三中学校)が誕生したとのことです。本校は、かつて「白布城」というお城があったことが記録に残っており、歴史に名だたる場所で学ぶ私たちは、一人一人が白布健児の誇りをもって歩んでいきたいものです。

冒頭の挨拶で荒井 校長は、「本校の校訓『至誠』の具現化に努めよう！」と言葉を投げかけられました。

本校教育の基本精神『至誠』とは、「人を欺かず、己を欺かず、自己の良心を尊び、善と信ずることは必ず実行する。」ことであり、5つの時代に渡って脈々と受け継がれてきました。職員生徒一同、今後も実践していきたいものです。

記念講演会は、4年ぶりに全校生徒が講堂に会して、本校OBで前下野新聞取締役の飯島一彦先生により、『新聞をあなたのお供に』と題してご講演をいただきました。「新聞はネットニュースと違い関心のない記事にも触れられる利点がある。昨今のスマホの過剰使用は、周囲の人に関心がもてなくなるなど、『スマホ脳』の問題が提議されてきている。」「アメリカではスタンド売り中心のため、宅配中心のわが国と違って『ニュース砂漠』が生じたり、新聞社の倒産が増えてきている。」と、グローバルな観点から多くの興味深いお話をいただきました。



■交通講話

4月21日(金)、多目的ホールで交通講話が行われました。交通指導係担当の九石先生から通学方法、ヘルメットの着用の努力義務化、自転車運転等任意保険の加入推奨及び自動車教習所通学許可願い・運転免許取得届について講和をいただきました。お話の中であった「注意1秒、けが一生」を肝に銘じて生活していきたいと改めて考えさせられました。

■校内防火防災避難訓練

5月6日(金)、地震発生により事務室から出火したとの想定で、各教室より全日昇降口前までの避難訓練が行われました。速やかな移動と3分以内での整列完了ができました。佐藤 教頭から「一酸化炭素中毒は『見えない、嗅げない、聞こえない』脅威であり、スマホ等を忘れたからといって現場に戻ってはいけない。『おはしも(押さない、走らない、しゃべらない、戻らない)』は鉄則であり、『自分の身は自分で守る』を肝に銘じてほしい。」との講評をいただきました。

■授業参観・PTA 総会



5月10日(水)、授業参観・PTA総会が開催されました。総会に先立ち、金壽 ひろみ 監事が本校応接室にて会計監査を行いました。総会は高橋 三高 会長の議事により、滞りなく進行しました。最後に、令和5年度の役員人事が、次の通りに決まりました。皆さま、1年間よろしくお祈りします。

会 長 鈴木 瞳 様 (3年次・新)
監 事 金壽ひろみ 様 (3年次・再) 千葉 里花 様 (2年次・新)
理 事 橋本 昌明 様 (3年次・新) 檜山 智子 様 (2年次・新)
日下田すみれ 様 (1年次・新) 山口 久美 様 (1年次・新)

高橋 三高様(写真右)におかれましては、PTA会長の重責を3年間担っていただきました。厚く御礼申し上げます。

■生徒総会

5月12日(金)、多目的ホールで生徒総会が開催されました。司会進行を宮城 賢治 君(4年次)、議長・副議長を神谷 咲羽 さん(4年次)・真喜志 アリア君(4年次)が担当、小笠原 颯汰 君(2年次)、鈴木 乃愛 さん(3年次)、金壽 光稜 君(4年次)、見目 愛里沙 さん(2年次)中尾 惺 君(2年次)が係を務めました。

生徒会長のビント ジョ君(4年次)の挨拶に続いて、議事は滞りなく進行・承認され、今年度の本校定時制の基本計画が承認されました。生徒達が真摯に取り組む姿に、今年度の明るい定時制の未来が見えたようでした。

■新体力テスト

5月22日(月)、梅雨空の元、グラウンドで50m走・立ち幅跳び・ハンドボール投げが行われました。終わった途端に雨が降り出すという幸運に恵まれました。給食後は体育館で、握力・上体起こし・長座体前屈・反復横跳び・シャトルランが行われました。シャトルランには体力自慢の先生方も飛び入り参加し、最後まで生徒と競い合っていました。中でも加藤 脩翔 君、福浦 楓馬 君(1年次)の走力は抜群でした。女子では半塚 梨緒奈さん(4年次)の走力が素晴らしかったです。

■第1回進路ガイダンス

6月9日(金)、県央産業技術専門学校、TBC学院の各分野の講師陣25名をお招きして、全校生対象の「進路ガイダンス」が開催されました。自習室で全体説明を受けた後、各教室に分かれて20分野の職業別体験型ガイダンスを二コマ受講しました。内容は、コンピュータ、CG・アニメ、eスポーツ、ビジネス、公務員、看護、介護福祉、医療事務、保育・幼児教育、イラスト・デザイン、自動車・二輪車、エンターテインメント、メタバース、調理・製菓、メイク・ネイル、ファッション、動物、理容・美容等、多岐に渡りました。

多くの生徒が将来の自分の進路決定に向けて真剣に話に聞き入り、体験に目を輝かせていました。「先生の説明がわかりやすく楽しかった。」の感想も上げられていました。特に調理・製菓に参加した生徒はフルーツサンド作りを体験し、おみやげとして家庭に持ち帰ることができ、大喜びでした。黒川 愛織 さん(1年次)は「上手にできた。家で家族と食べたい。」と満足気でした。

また、エンターテインメントに参加し、ラジオパーソナリティに挑戦した水上 拓海 君(3年次・写真右)はラジオ原稿作りからマイクを通しての放送・録音を体験しました。実際に、FMもおか内で放送の運びとなりました。

また今回初の試みとして、保護者対象の給食試食会と進路ガイダンス見学会が行われました。当日の献立はガーリックピラフ、湯葉とわかめスープ、とびうおのフライ、ほうれん草のマカロニサラダ、青りんごゼリー、牛乳でした。ともに子どもの活動を間近に見る絶好の機会となり、「おいしかった。子供の栄養バランスにすごくいいですね。大満足でした。」との感想をいただくなど、好評でした。次回は7月14日(金)生活体験作文校内発表会に予定されていますので、ぜひお越しください。



■県高等学校定時制通信制総合体育大会

6月17日(土)、陸上競技部が真岡市総合運動公園、柔道部が栃木総合運動公園ユウケイ武道館で開催されました。陸上競技部4年次生の2人が男子砲丸投げで第1位・2位に、1年次生が男子走り幅跳びで第2位に輝き、4月に先行して実施された男子円盤投げの第1位・2位と併せて、全国大会への出場を決めました。柔道部は2年次生が1名だけの参加で、他校のエントリーがありませんでしたが、全国大会に出場します。ますますの活躍を期待しています。

全国高校定時制通信制総合体育大会は、陸上競技が8月11日東京・駒沢オリンピック公園、柔道が8月6日東京・講堂館で開催されます。

祝 全国大会出場!

陸上競技部 宮城 賢治 君(4年次) 男子砲丸投げ第1位・男子円盤投げ第2位
菅野 秀紀 君(4年次) 男子円盤投げ第1位・男子砲丸投げ第2位
加藤 脩翔 君(1年次) 男子走り幅跳び第2位
柔道部 檜山竜ノ介 君(2年次・写真) 男子75kg以下級・無差別級、団体(栃木県チーム)



■性に関する講話

6月23日(金)、記念館講堂で芳賀赤十字病院の助産師、関口 真弓 先生をお招きし、「性に関する知識」と題した講演が行われました。勤務されている産婦人科では、助産師としても生命の誕生に関わっていらっしゃいます。先生のたいへん聞きやすい率直なお話、思春期の真っ只中にある生徒のみなさんは、真剣に耳を傾けていました。性への興味・関心、男女交際の悩み・不安、男女の心と体の違い、今妊娠したらどうなるのか、性感染症の危険、LGBTQなど、盛り沢山で勉強になりました。

■定時制後援会理事会・総会



7月6日(木)、理事会・総会に先立ち、応接室にて監事の齊籐 敏彦 様と二瓶 修治 様が監査をしてくださりました。その後、記念館1F会議室にて定時制後援会理事会が、続いて記念館2F講堂において定時制後援会総会が開催されました。多くの会員の方にお集まりいただき、鈴木 定男 後援会会長様の司会進行によってスムーズに会が進行しました。

議事の最後に、会員の三澤 幸光 様から、「経営するコンビニでアルバイトしている本校生4名はよく仕事をしてくれ、新しい機器をすぐ使いこなせて頼りになる。」と温かな労いの言葉をいただきました。また「後援会会則の在校生のいる会社・事業所」として学校への寄付のお申し出をいただきました。

会員の皆さまには本校の卒業生も多く、多くの思い出話や裏話までも披露され、終始和やかな雰囲気の下、閉会となりました。令和5年度の新役員は次の通りです。皆さま、1年間よろしくお祈りします。

会長 鈴木 定男 様 (株式会社 山都) 副会長 小池 敏之 様 (真岡工業団地総合管理協会)
副会長 二ツ森 康明 様 (宝栄工業株式会社) 監事 二瓶 修治 様 (富士ファイバー株式会社)
監事 齊籐 敏彦 様 (株式会社 ホンデン製作所)

■生徒会役員選挙

7月7日(金)、記念館講堂にて生徒会役員選挙立会演説会に続いて、投票が行われました。生徒会長候補(当選1)に1名、副会長候補(当選2)に2名の立候補がありました。

佐藤 教頭はあいさつの中で「立候補者・応援弁士の自主性と熱意を讃えたい。」と述べました。ある候補者は「学校は楽しいですか?僕は学校が楽しいです。しかしもっと楽しい学校にしていきたい。」と、また別の候補者は「すでによい学校をよりよくしていきたい」と、学校の未来を真剣に考えた演説を行い、生徒たちも真剣な眼差しで聞いていました。選挙管理委員の生徒も、投票所の会場作製や運営等、頑張っていました。

信任投票になりましたが、一般の選挙と同様、選挙でお借りした選挙用器材を使って投票体験をしました。

新役員は次の通りです。

生徒会長 小笠原 颯汰 君(2年次) 副会長 東 斗和 君・柴田 伴香さん(2年次)



■校内生活体験発表会

7月14日(金)、記念館講堂において「生活体験作文発表会」が開催されました。ピント ジョウ君が司会進行を務め、神谷 咲羽 さんが発表上の注意を述べ、金壽 光稜 君(4年次) 橋本 英輝 君(3年次) 小笠原 颯汰 君、篠崎 遼 君(2年次)も生徒中心の運営の役目を果たしました。

荒井 校長は挨拶の中で、「選外生徒の作品も、この後全部読む。」と述べられました。講評で「人前での発表は勇気がいる。一人一人が勇気をもって発表してくれて偉い。審査として聞いたというより、聞いているこの時間が大切なひと時だった。」と、最高の賛辞を贈られました。

最優秀賞に輝いた千葉 陽翔 君 (2 年次・写真) は、「頑張ってよかった。県大会でも頑張ります。」と笑顔で答えてくれました。10 月 21 日 (土) に県教育会館で行われる県高等学校定時制通信制文化発表会の本校代表になります。こちらの会場を使っている県内の定時制通信制の全生徒が集まるのは 4 年ぶりです。結果は以下の通りです。



- 最優秀賞 千葉 陽翔 (2 年次・写真) 『学校生活が変わったこと』
- 優秀賞 宮城 賢治 (4 年次) 『変わった自分』
- ラケプラント プリジッテ (1 年次) 『私の夢』
- 優良賞 日下田 風人 (1 年次) 『定時制に入学してから』
- マツノ トシロ (3 年次) 『夢に向かって今を生きる』

■校内体育大会

7 月 19 日 (水)、校内体育大会 (バスケットボール・バドミントン・卓球) が本校体育館で行われました。大きく体調を崩す者も怪我をする者もおらず、精一杯競技に打ち込んでいました。バドミントンで優勝した東 斗和 君(2 年次)は「昨年、準優勝のリベンジを果たすため、体育の時間や放課後に練習した成果が出てうれしいです。」と満面の笑顔でした。

結果は以下の通りです。2 学期の始業式で表彰予定です。

- バスケットボール 優勝 4 年次 準優勝 3 年次 第3位 1 年次
- バドミントン 優勝 東 斗和 (2 年次) 準優勝 ピント ジオ (4 年次)
- 卓球 優勝 千葉 陽翔 (2 年次) 準優勝 金壽 光稜 (4 年次)

■第1学期終業式

7 月 20 日 (木)、猛暑の最中、記念館講堂において第 1 学期の終業式が行われました。

荒井 校長は冒頭で生徒達に、「地球温暖化が進み、40℃超えの猛暑が日常化したらこの先どうなってしまうか？」と問い掛けられました。

「普通の人には不安を抱くので精一杯だが、2021 年にノーベル物理学賞を受賞した真鍋淑郎博士は、今から 50 年以上も前に『二酸化炭素が増えれば地球の気温が上昇し、地球温暖化につながる』との研究を発表した。そしてコンピュータによるシミュレーション気候変動を長期的スケールで予測できるシステムを開発し、地球温暖化研究のパイオニアとなった。」

「博士は元々、気候のことをもっと知りたかったからとの理由から、高校時代に学ぶようなレベルの基礎的な物理の法則を基に、地球の大きさや地形などをコンピュータに入力した。まさに『探求心』の賜物と言える。」

最後に「これから夏休み。博士のように何か一つ興味のある分野を見つけてほしい。」「自分の夢や希望を叶えるために、壁を乗り越え困難に打ち勝つことも必要となる。所々に道標を置き、一步一步前進していく。そして夏季休暇中の成果を、第 2 学期以降に発揮してほしい。」と結ばれました。

●クラス関係一覧●

学年次 (正担任)	在籍	皆勤賞
1 年次 (夕・夜) 村上 (国語科) 江田 (英語科)	19 名	2 名 黒川 愛織さん・肥高 準也 君
2 年次 (夕・自校三修) 横川 (数学科)	14 名	1 名 千葉 陽翔 君
3 年次 (夕) 九石 (保健体育科)	7 名	1 名 水上 拓海 君
4 年次 (夕・夜) 篠原 (理科)	11 名	2 名 ピント ジオ君・八谷 花梨さん

□「真岡高等学校定時制ホームページ」更新中、ぜひご覧ください！



昨年度よりほぼ毎週更新しており、生徒の活動の様子が写真付きで掲載されています。また「給食室より」では、中島 彩子 学校栄養士により栄養豊富なメニューが写真付きで毎日更新されています。以下の QR コードを携帯電話のバーコードリーダーで読み取ってアクセスしてください。



給食を一切食べず、多額の給食費を無駄にしている生徒が一定数おり、フードロスに直結しています。保護者等の方の稼いだお金をドブに捨てるような行為となっているのは言うまでもありません。お金のありがたさについて、ご自宅でお話しくだされれば幸いです。

給食を通じて、食に関する知識を身に付け、健康的な食生活を実践することにより、心と身体の健康を維持し、生涯にわたって「食べる力」＝「生きる力」を育んでいってほしいと思います。

□「図書だより 2023 夏号」が生徒に配付されています。保護者等の方もご一読ください！

夏休みを前に、図書委員長の神谷 咲羽さん (4 年次) 水上 拓海 君・マツノ トシロ君 (3 年次) 塚田 心美さん・長谷 希花さん (2 年次) 神谷 柊羽 君・山口 翔 君が寄稿してくれた『思い出の一冊』を中心に、年三回発行予定の委員会報「図書だより 2023 夏号」が生徒に配付されました。図書最多貸出数部門で神谷 咲羽さん (4 年次) が紙上表彰されています。

★白布のかぜ～あとがきに代えて～

盛夏の候、みなさまにおかれましてはいかがお過ごしでしょうか。平素から定時制教育にご理解とご支援をいただき感謝申し上げます。

コロナウイルスが 4 年目を迎え、第 9 波の拡大の可能性も指摘されています。近年、線状降水帯などの自然災害も脅威を増し、各地に甚大な被害をもたらしています。また日本周辺海域への領海侵入も止まる所を知らず、「内憂外患こもごも至る」状況です。

昨年度本校定時制は、進学面では本人の努力は素晴らしく、毎日の補習授業を通じて 4 年制大学に一般合格することができました。就職の状況もきわめて良好で、入社試験を受けた生徒全員が正社員として就職することができました。生徒の皆さんが、コロナの「我慢の時期」を、実力を蓄える「雌伏の時期」に換えて頑張った成果が結実し、大きく羽ばたいていってくれました。

保護者の皆さま、地域の皆さま、そして私たち教職員、真岡高校定時制に関わる全ての方々、つつがなく第 2 学期を迎えられますことを祈念しております。(渉外部)

白布城だより 2023・冬

栃木県立真岡高等学校定時制課程

〒321-4331 栃木県真岡市白布ヶ丘24番地1

☎0285-82-3413 ■FAX0285-82-2913

●巻頭言●



「2023年の師走にあたり」

教頭 佐藤 成之

今年度も保護者の皆様、定時制後援会、地域の皆様には、本校の教育活動に多大なるご支援をいただき、感謝申し上げます。新年度が始まって早くも8カ月が過ぎ、今年も残すところわずかになりました。2学期を振り返りますと、コロナ禍以前の日常の姿に確実に近づいていることを実感することができました。

9月19日(金)卒業から2年目以内の卒業生6名を招き、進路ガイダンスを行いました。上級生にとって顔見知りの先輩ばかりなので、大学や専門学校で学んでいる内容や、企業での業務内容、在校生に向けてのアドバイスなどに、真剣な態度で聞き入り、卒業後の進路への意欲を高めることができました。

10月21日(土)栃木県高等学校定時制通信制文化発表会が4年ぶりに、栃木県内の各校から一般生徒も参加して実施されました。本校を代表して生活体験発表の部に出場した2年次の千葉陽翔君は、「学校生活で変わったこと」というタイトルで、大勢の聴衆に臆することなく、学校生活について、落ち着いて堂々と発表することができました。また、ポスター部門に応募した1年次のラケブランド・ブリジtteさんは、見事に優秀賞を受賞することができました。また、幕間のパフォーマンスに登場した1年次の岡本歩夢君のトランペット独奏に会場中が湧きかえりました。

10月25日(水)から10月27日(金)には、絶好の天気のもと、北海道函館方面へ予定通りの日程で修学旅行を実施することができました。北国ということをおぼろしく感じ、生徒たちも半袖で過ごしていました。生徒の自主性を尊重し、自由行動の多い旅行でしたが、事前に調べた情報をもとに、グループあるいは個人でコースを考え、異国情緒あふれる街並みを楽しんだり、地元の名店を廻ったりと、良い思い出を作ることができました。生徒たちの感想の中には、「観光地としての印象のみならず、「函館の運転手は、歩行者を見ると止まってくれることに驚いた。」など、土地に暮らす人たちの人柄などについても言及しており、生徒たちの物の見方、考え方に成長を感じることができました。

また、修学旅行最終日の10月27日(金)に東京スカイツリー方面への研修旅行を実施することができました。浅草浅草寺で煙を頭にかぶったり、仲見世通りでの買い物を楽しみました。スカイツリーの展望台ではガラスの床に乗ってスリルを楽しんでいました。

11月10日(金)には、定時制祭が行われ、生徒会が中心となって考えたゲームやクイズを、全校生徒、全職員の参加で楽しみました。司会や運営を行った生徒会の生徒にとっても貴重な経験となりました。

11月初旬までは夏のような気候が続いた今年でしたが、朝晩の冷え込みも強くなり、すっかり冬らしくなってきました。皆様方におかれましても、お身体をご自愛され、よい新年をお迎えくださいますよう祈念いたしまして、ごあいさつとさせていただきます。

■第2学期始業式



9月1日(金)記念館講堂で、第2学期始業式が挙行されました。荒井博文校長が講話で、「新年度に当たりひと月2冊読書するという目標を立てた。今10冊のはずがまだ5冊と目標倒れである。9月の秋の夜長に挽回したい。」と話されると、場が一気に和らぎました。続けて「昨今の処理水の海洋放出、円高やガソリン高騰等、世の中に起きていることを知っておく必要がある。自身のスマホに上がってくるニュースは日頃の検索傾向により人それぞれとのこと。ぜひ他の人のスマホを確かめてみてはどうだろうか。」と提起されました。最後に「真摯に始業式に臨む態度は、『これなら2学期もしっかりやってくれそうだな』と期待感で一杯だ。今学期も毎日登校して勉強を頑張ってもらいたい。」と期待を込めたメッセージを送られました。

○表彰式 [校内生活体験発表会]

最優秀賞 千葉 陽翔 君(2年次) 優秀賞 宮城 賢治 君(4年次)、ラケブランド・ブルジtteさん(1年次)

優良賞 マツノ・トシロ君(3年次)、日下田 風人 君(1年次) 優秀審査員賞 柴田 伴香さん(2年次)

○定通全国大会結果報告会

陸上競技部・柔道部ともに惜しくも予選敗退となりました。菅野秀紀・宮城賢治(陸上部)の両君から「この悔しさを今後の学校生活の中で生かしていけるよう頑張りたい。」榎山竜ノ介君(柔道部)からは「来年は優勝を目指したい。」と頼もしい挨拶がありました。昨今運動部員数が全国的に減少傾向にある中、夜遅くまで練習を頑張る彼ら真高健児にご声援よろしくお祈りします。

○生徒総会・生徒会役員任命式

小林優斗君・八谷花梨さん(4年次)が議長団を務め、生徒会役員選出について見事な議事進行を行いました。前生徒会長ピント・ジオ君(4年次)が退任挨拶で、「大勢の前で話すのが苦手だった僕が、みなさんの協力によってなんとかやり遂げることができた。」と大任を果たした安堵感あふれるスピーチを披露しました。

任命式授与後の激励の言葉で荒井校長は、「前役員のみなさんが、多くの行事の裏方として大成功に導いてくれた頑張り感謝したい。話すのが苦手だった人も、回数をこなすうちに流暢な司会進行を行う姿を間近で見てきた。実はそういう私も、話すのが苦手だったひとりだ。」と温かいまなざしを向けられました。

○新生徒会役員任命式 本校定時制の活性化を図る原動力となるよう、率先垂範で頑張りを期待します。

会長 小笠原 颯汰 君(2年次) 副会長 東 斗和 君(2年次)、柴田 伴香さん(2年次)

書記 見目 愛里沙さん(2年次)、ラケブラント・ブリジッテさん(1年次)

会計 中尾 惺 君(2年次)、田迎 菜摘さん(1年次) 会計監査 岩崎 夕希さん(3年次)、栗田 蒼生 君(2年次)

■進路キャリア教育3

9月29日(金)記念館講堂にて、進学・就職に向けた在校生の意識高揚を目的に、6名の卒業生をお招きし一問一答形式の座談会が行われました。国際医療福祉大学(大田原市)で介護福祉士になるための知識・技能を学ぶAさん、国際テクニカレッジデザイン専門学校(小山市)でイラスト・デザインを専攻するBさん。矢崎部品(那須烏山市)で自動車部品の設計を担当しているC君と同社で新入社員研修中のD君。藤沼建設(下野市)で経理事務を担当するE君。そしてダイニック(真岡市)で印刷に従事するF君が、勉強・仕事の苦労とやりがいについて、時には笑いやサラリーマンの悲哀も交えて熱弁を振るってくれました。

Aさんは「高校では学びが受け身になってしまったが、大学では自分の疑問を積極的に解決し、熟考することが多くなった。」Bさんは「専門学校では先生に個人的に質問に行ったり、仲間と教え合ったりと、主体的に学んでいる。」C君は「会社はやる気を見ることが大切だ。やりたくないことでも、進んでやっておくと自分が成長できる。」D君は「人間関係作りが苦手なので、自分から話しかけて人間関係を築こうとしている。」E君は「会社組織は、まず挨拶や気配りが大切であり、次にやる気を周囲に伝えていって、いかに信頼を勝ち取れるかが肝心。また仕事と並行して、仕事以外の生きがいを見つけておくのも忘れずに。」F君は「明るい返事、確認を取り合う、意思表示をするなど、日頃からの人間関係作りが大切だ。仕事上のトラブルも乗り切れる。」と、それぞれが貴重な体験談を語ってくれました。

卒業生が努力して積み重ねている信頼は想像に難しくなく、頼もしささえ感じられました。在校生は、年齢の近い先輩が社会人として活躍しているのを目の当たりにし、卒業後の進路に対する意欲が高まっている様子でした。

■人権教育

10月6日(金)記念館講堂で、中央福祉医療専門学校副校長の飯塚浩史先生にお越しいただき、「人権意識を高揚させる」と題して講演をいただきました。「対面でつきあった級友との関係から、さらに自分という存在に気付くことができる。これはSNSでは築けない。」「大手リゾートで見られるホスピタリティ(接遇)とは、常に相手の立場に立って相手が心地よさを感じるようなおもてなしの意識をもって接することである。これが相互の心地よい関係につながり、WIN-WINの関係を生む。」「組織内では、『自分を見てくれているんだな』という安心感が仕事のやりがいにつながる。相手を受容しつつ自分の意見を伝えていくことが肝心だ。」「『仕事はその仕事にふさわしい人に流れる。』すなわち、上司は全力で仕事をしてくれそうな部下に仕事を廻す。」「コミュニケーションによる相互理解にも各人の認知力の違いから限界があり、確認・質問・記録で限界を乗り越える必要がある。」等、これから社会に羽ばたいていくための心構えも併せてお話しいただきました。盛り沢山の話題に生徒も真剣に耳を傾けていました。

■PTA 給食試食会・授業参観・薬物乱用防止講話

10月20日(金)食堂で、授業参観に先立ち給食試食会が開かれました。献立は「きのこかやくごはん・鶏団子と生姜のスープ・モロのピザ焼き・五目厚焼き玉子・デリ風根菜サラダ・巨峰・牛乳」といつも通りの美味しいメニューで、保護者の方も堪能していらっしました。

3校時の授業参観で、1年次は「英語コミュニケーションⅠ」、2年次は「地理総合」、3年次は「コミュニケーション英語Ⅱ」、4年次は「書道Ⅱ」の授業が行われ、僅少でしたが熱心な保護者の方に参観していただきました。

4校時は真岡警察署の鈴木楓巡査長にお越しいただき、「薬物乱用のない社会を」と題した講演をしていただきました。「近年違法薬物乱用者の検挙数が増え、一般社会に深く浸透してきた。薬物乱用は幻覚・妄想を引き起こし、犯罪や家庭崩壊につながってしまう。甘い誘いを断る勇気が必要だ。」等のお話から、再犯率の高さや悲劇的な末路、そして脳に及ぼす甚大なダメージについて詳しく知ることができました。

また、昨今のSNSを通じた性被害についてもお話しくださり、STOP 自撮りを推奨されていました。通信相手の求めに応じて自分の裸の画像を撮影・送信してしまう児童ポルノ被害者の多くが中・高校生である。一度ネット上に流出すると、不特定多数の人に繰り返しコピーされ半永久的にネット上に残るデジタルタトゥーの事態に陥るとの話に、生徒も真剣に聞き入っていました。

■栃木県高等学校定時制通信制文化発表会



10月21日(土)10時に学校に集合、全生徒46名が借上げバスに乗り、栃木県教育会館大ホールで開催された県定通文化発表会に参加しました。前年度までは出場者のみの簡易開催で、一堂に会するのはコロナ禍により4年ぶりです。

本校代表の千葉陽翔君(2年次)は、「学校生活で変わったこと」と題し、落ち着いた素晴らしい発表を披露しました。ポスターの部では、ラケブラント・ブリジッテさん(1年次)が優秀賞に選ばれ、配布されたパンフレットの裏表紙を飾りました。

生徒パフォーマンスの部では、岡本歩夢君(1年次)が堂々たるトランペット独奏で「青春の輝き」「銀河鉄道999」の2曲を奏でると、万雷の喝さいが沸き起こりました。演奏間の軽妙なトークも大好評でした。荒井校長は生活体験発表会の審査の最中、審査委員でただお一人客席に駆けつけ見守ってくださいました。後日、抜群の演奏だったとお褒めの言葉をいただきました。

さてこの場をお借りして、定時制後援会様からバス借上げ代金のご芳志を賜りましたこと、深く感謝申し上げます。

○表彰 ポスターの部 優秀賞 ラケブラント・ブリジッテさん(1年次)

発表の部 優良賞 千葉 陽翔 君(2年次)



■修学旅行

10月25日(水)から27日(金)まで、参加生徒5名・引率職員3名(教頭・担任・養護)の計8名が、北海道函館方面に修学旅行に行ってきました。JR宇都宮駅に集合、8時29分発の新幹線で晴天の函館に到着したのは12時50分、昼食や買い物をしながら函館市内を散策しました。夜はケーブルバスで世界三大夜景で名高い函館山に上り、山頂からの大パノラマに圧倒されました。見下ろす景観が偶然にも渡島半島と形がそっくりなため、勘違いしてしまったとの感想も聞かれました。宿泊ホテルは東急ステイ函館朝市と抜群のロケーションでした。



2日目は市電に乗って五稜郭公園に移動し、五稜郭タワー展望台からの眺望に、150有余年前の戊辰戦争の激戦に思いを馳せました。午後には赤レンガ倉庫から函館港内一周遊覧船で優雅なクルーズを楽しんだ後、夕食のジンギスカンに舌鼓を打ちました。3日目は生田ガラス館でスタンドグラス作りを体験し、級友と出来栄を競い合い交友を深めることができました。16時57分にJR宇都宮駅に到着して全日程を終了しました。

橋本英輝君(3年次)は「レトロな美しい街並みや高速クルーズ船からの絶景を堪能できた。」鈴木乃愛さん(3年次)は「学校生活では学べない自主的な活動ができた。」と感想を述べるなど、思い出深い3日間となりました。

■校外学習



10月27日(金)8時本校集合、参加生徒31名・引率職員7名の計38名が、借上げバスで浅草寺・東京スカイツリー方面に校外学習に行ってきました。浅草に到着すると、テレビニュースさながら海外からの観光客で通りはあふれかえり、人波に押されながら浅草寺本堂前に到着しました。常香炉の煙を見様見真似で頭や身体に振りかけてお祈りした後、班別行動で買い物と食べ歩きを楽しみました。雷おこしを購入した生徒が、家のお土産にすると話しながら紙袋を大事そうに持ち歩く姿はなんとも微笑ましかったです。

浅草駅から東武電車で一区間乗車しスカイツリー駅で降車すると、そこは634mの巨大タワーの真下で、その威容に圧倒されました。わずか50秒で到着する超高速エレベーターに歓声を上げたり、空中回廊の床の一部のガラス張り部分をのぞき込んで尻込みする格好に笑い合ったりと、級友との交友を深めていました。生徒たちの中には、食事代等で東京の物価の高さを身をもって感じたと話す者もあり、多くのことを学ぶことができたようです。無事18時20分に帰校し思い出に残る1日となりました。定時制後援会様からバス借上げ代金のご芳志を賜り、誠にありがとうございました。

■定時制祭

11月10日(金)多目的ホールで、定時制祭が行われました。各年次が1~2組に分かれ、職員も加わって一つのグループを作り、勝敗を競い合いました。スタートの「箱の中身はなんだろう?」は、代表生徒が箱の両側の丸い穴に恐る恐る手を入れて中身を当てるゲームで、やる側も見ている側もハラハラドキドキの連続に、一体感が生まれました。

給食は「お祭りメニュー」と銘打ち、「ポテト入り焼きそば・ピザまん・イカ焼き・サラダ・ごま団子・コーヒール牛乳」と美味しく楽しい給食に大満足で、お代わりする生徒も出ました。

給食後の「イントロクイズ」では、早押しした生徒がイントロに続き「嵐」の「HAPPINESS」を熱唱し、盛り上がり急加速しました。続く「真岡高校クイズ」では学校の歴史、学校生活や先生方の④情報等幅広く出題されると、グループで協力し答えをまとめて発表するなど、クラスの和が深まりました。さらに「お絵描きクイズ」は、生徒会役員2名が黒板に絵を描くや否や、競って答えを言い合い大盛況でした。最後にアイマスクをつけての「気配斬り」では、先生方も一対一の斬り合いに参加し普段見せない姿に、大盛り上がりの夕べとなりました。

新生徒会役員初の学校行事でしたが、司会進行や運営に大車輪の活躍でした。佐藤教頭先生から「企画運営が素晴らしかった。生徒たちもリラックスして大いに楽しんでいる様子は、本校定時制の真骨頂だ。」とお褒めの言葉をいただきました。

■校内防火防災避難訓練

11月17日(金)地震発生後の出火の想定で、避難訓練が行われました。事前に各HRで基本的な避難行動「お・か・し・も・ち」の5原則「押さない・駆けない・しゃべらない・戻らない・近づかない」や、火災と地震の場合ではカーテンや出入口の開閉が異なることを確認しました。避難指示の報知から体育館への避難・人員確認・本部報告まで迅速な行動が取れました。

講評で石川善行教務主任は、12年前の東日本大震災時の東京ディズニーリゾート(TDR)の対応を例に挙げ、「TDRでは年間180回の防災訓練を実施し、1万人のスタッフが10万人のキャストを安全に避難させる事態は想定内だった。その後電車の不通と周囲の土地の液状化現象により帰宅困難者が約2万人に上り、パーク内で一夜を過ごすことを余儀なくされたため、備蓄された段ボール・アルミブランケット・非常食が配布された。『お土産店内の物品は防災目的に使用してよい』という災害時の行動基準により、ぬいぐるみを防災頭巾に、おみやげのお菓子を非常食に提供、大きなみやげ袋を両具代わりにし、開業28年間秘密にし続けたバックヤードさえ避難経路として往来させた。何よりもスタッフが避難者に対して『安心の提供』と『安全の保障』を呼び掛けて、安心して一夜を過ごせるように配慮できたことは、日頃からの訓練の賜物だった。」と身近な場所で起きた“深い話”に生徒は目を輝かせて聞いていました。

さらに「学校では授業を初め、級友の会話からも何かを知ったり学ぶことができる。知ることは人生を豊かにしてくれる。知識は奪われないものだ。」と結ばれ、毎日きちんと登校して日々の学校生活を充実させることの大切さについても言及されました。

■全校ボランティア

11月24日(金)コロナ禍も収束の兆しを見せた秋晴れの日、市井元真岡西ロータリークラブ会長様、鈴木定男定時制後援会会長様を初め8名の会員の皆様にお越しいただき、4年ぶりに本校と真岡西ロータリークラブ様合同での地域連携全校ボランティア活動が開催されました。各年次毎に4つの分担区に分かれ、本校周辺の公道上でゴミ拾い、その後校門内外の落ち葉拾いを行いました。真剣にゴミを拾い歩く姿は、日頃の学校生活のまじめさが直結しており、会員様から励ましのお言葉をいただきながらの2時間となりました。





白布ヶ丘周辺地域を歩いて常に感心するのは、ポイ捨てされたごみがほとんどなく、地域の方々の環境への意識の高さを伺い知ることができる点です。改めてこの地域は文教地区だと実感することができました。またごみを拾っていると挨拶や会釈をさせていただいたり、「ありがとうね。私らも負けずに落ち葉拾い頑張るよ。」と労いのお声掛けをいただくなど、恐縮至極に存じます。

■進路相談会

12月11日(月)午後4時からフォーシーズン静風で、進路相談会(ライオンスアガミー主催)が県内の大学・短大9校、専門学校34校、企業38社を集めて開催されました。32名の参加生徒(1年次15名、2年次13名、3年次3名、4年生1名)が事前に調べ学習をして臨みました。人事担当者から求める人材や学習・仕事内容に関する情報を直接聞く機会を得られるとあって、順番待ちをしながらでも話を聞こうとする意欲が見られるなど、これまでの進路指導の積み重ねの成果だと実感できました。貴重な外部知識の獲得に重ねて、参加した他校生からの外的刺激も受けることができ、進路実現に向けた意識付けとなった2時間になりました。

■校内体育大会

12月22日(金)講堂で、校内体育大会バレーボール競技が行われました。2学期の体育の授業を通じ培った成果が思う存分発揮され、白熱した戦いが繰り広げられました。多くの生徒が、「楽しかった。この2か月、放課後毎晩練習を積み重ねてきた成果が出た。クラスが団結できた。」と感想を述べるなど満足気でした。佐藤教頭先生は講評で、「みなさんの上達は目を見張るものがある。失敗をけしてけなさず、励ましてプレーしていた。」とお褒めの言葉をいただきました。また定時制後援会様からバレーボール2個のご芳志を賜りましたこと、ご報告申し上げます。 ○競技結果 優勝 4年次A 準優勝 2年次A 第3位 1年次B

■第2学期終業式

12月25日(月)記念館講堂で、第2学期終業式が挙行されました。荒井校長は講話で「みなさんが生まれた頃の金の取引価格が1g2,000円。先週22日は10,300円。なんと5倍。相場は常に動いており、今日は違う値がつく。このように様々な分野で新たな情報が発信される。自分の次の行動を決める判断材料は、正しい情報である。冬休み中は新聞や本を読み、確かな情報を身に付けるきっかけ作りをしてほしい。そして新年の節目に、目指す目標を設定してほしい。」と、新年への期待を寄せられました。

○表彰式(皆勤賞) 黒川 愛織さん、日高 準也 君(1年次) 千葉 陽翔 君(2年次) ピント・ジオ 君(4年次)
(芳賀郡市教育会優秀生徒) ピント・ジオ君(4年次)

□進路指導所懐 ～ 進学・就職最高の成果 ～ 小森法史 進路指導部長より

令和5年度の進路指導の結果が出そろった。進路希望の内訳が、就職希望者11名、専門学校希望者2名であった。就職活動の状況は準備・試験共にきわめて良好であり、10月18日の時点で入社試験を受けた生徒全員が内定を得ることができた。進学2名も推薦で合格した。6・8月に進路ガイダンスを行った上で夏休みを有効活用し、2名の外部講師による履歴書および面接指導を4日間にわたり実施したことが、功を奏したと思われる。就職指導に関しては、次の4点を重要視した

1. 各会社が、どのような人材を求めているのか。
2. どの程度の学力を必要としているのか。
3. 男性・女性のどちらを特に求めているのか。(真岡地区の工場は、男性のみを募集しているところがほとんど)
4. 求人数とその充足率の見通し。

これら4つを中心に多くの事業所の人事担当の方と細かく面談している。また各会社の本校に対しての熱量も参考にしている。以下が内定した事業所である。

[就職11名] 神戸製鋼株式会社(2名)、矢崎部品株式会社おがビジネスネット(2名)、JAはが野真岡、ホンダモビリティ株式会社モビリティ茂木、ヤマダ電機株式会社、ケーブ電気株式会社、アムテック株式会社、第一貨物株式会社、茨城食品ガーリック工業株式会社

[進学2名] 県産業技術専門学校 機械技術科(1名)、金属加工科(1名)



★白布の風～あとがきに代えて～

朝晩の冷え込みが一段と厳しくなってきましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。平素から定時制教育にご理解とご支援をいただき感謝申し上げます。

11月9日(木)に佐藤務同窓会長様が来校され、給食・3校時の授業・下校の様子をご覧になりました。給食時には生徒にも親しくお声掛けをいただき、日頃の頑張りを誉めていただくと、生徒の目が輝くさまを目の当たりにすることができ、本校の生徒指導の視点である「目をかけ、手をかけ、心をかける指導」の大切さを改めて実感することができました。我々職員に対しては、広瀬淡窓の「桂林壯雑詠諸生に示す」、つまり「他郷での勉学は苦しいなどと弱音を吐いてはいけません。そこでは1枚の衣類も貸し合う友人ができる。」の一節をご教授いただきました。

さらに「本校定時制教育は東大生10名輩出することより、教育的に尊い。」とお言葉を頂戴し、定時制職員にとって励みになる一日となりました。

さて寒い冬が到来しました。まもなく令和6年正月を迎えます。お正月の風物詩、箱根駅伝をテレビでご覧になる方も多くいらっしゃると思います。山梨学院大学陸上競技部の上田誠仁監督が「何も咲かない寒い日は、下へ下へと根を伸ばせ。やがて大きな花が咲く。」と練習終わりに話して聞かせた選手の中に、後の岐阜商業高校陸上競技部監督の中澤正仁先生がいらっしゃいました。当時高校生の高橋尚子さんがその言葉を日々心に刻んで厳しい練習に耐え抜いた珠玉の言葉であり、シドニーオリンピッククマラソン金メダルという大輪の花を咲かせました。上田監督の教えが中澤監督を通して世に出た瞬間だったので。

「コロナ禍」というつらい時期を耐え抜き4年がたちました。幸せな時期は必ずやってきます。定時制生徒の皆さんがそれぞれの大輪の花を咲かせることを願ってやみません。

保護者の皆様、地域の皆様、そして私たち教職員、真岡高校定時制に関わる全ての方々が、つつがなく新年を迎えられますことを祈念しております。(渉外部)

